

日 時	平成 18 年（2006 年）12 月 26 日（火）18：30～21：30
場 所	男女共同参画推進センター“すてっぷ”視聴覚室
案 件	男女共同参画推進財団のあり方検討について 男女共同参画推進課長より説明
出席者	市民 20 人 財団あり方検討部会（行政 6 人、財団事務局 3 人）

主な意見交換（○は市民、◆は財団あり方検討部会）

1. 意見交換会の運営について

- 財団のあり方について、財団から報告すべきでは。
- ◆あり方検討部会の事務局を財団と市と共同で担っているの、検討部会事務局として資料説明をした。今回のあり方検討部会は市の主導で始まったことで、財団の事務局としてはお金のかからない財団になれというのは難しいと思っているのが本音。理事に相談したが市と調整して進めるようにと言われた。
- 今日の話は、今後どう生かされるのか。
- ◆次のあり方検討部会に生かそうと思っている。
- 意見交換会を財団独自の主催でできないのか。検討部会の理事が出席していないが。
- ◆市と共同でということになっているので、単独開催は難しい。本日の意見交換会に理事の出席は要請していない。
- 平成 18 年度中に検討結果を報告するとあるがどういう意味か。検討課題を明記すると理解してよいか。
- ◆そのように考えている。
- 意見を交換するのであれば、もっと論点を整理してはどうか。
- 財団のあり方と、すてっぷのあり方は違うのは分かるが、すてっぷのあり方に興味がある。

2. 財団の現状について

- 貸室の一般と目的の比率はどのくらいか。
- ◆目的：一般＝3：1くらいだと思う。
- 印刷ルームの印刷機を何故 5 階に移転したのか。元々印刷をしながら会議をするように設置された部屋である。
- ◆印刷音が気になって会議が難しいと多くの方から意見が寄せられたため、印刷機を 5 階に移転したものである。
- 財団は男女共同参画社会を実現するために設立された。5 年が経過し、現在豊中においてどういう課題があるのか聞かせて欲しい。
- ◆市民アンケートで男女平等についての意識をきいたが、どの分野をみても男性の優遇感が強い。この現状を克服するため、計画に基づく施策を着実に実施していきたい。

◆すてっぷまで来られない人にすてっぷのめざすものをどう伝えるのかという課題があると思っている。関心のない人にも男女共同参画は自分たちの暮らしに寄与するよいものだと分かってもらえる場づくりが必要である。また、啓発だけでなく就労支援などの実効性のある動きが必要である。

○オープン当初から非常勤職員の待遇は問題となっているが。

◆当初からの課題であることは認識しているが、現状では難しい。

3. 財団のあり方について

○経営健全化とあるがどういうことか。

◆財政の健全化は全市的な課題である。5年後のすてっぷの指定管理者の公募に向けて、これからの5年間に必要な財源、資源を整えたいと思う。

○人権問題は独立採算できる分野ではない。財政の健全化と言われると、予算を削ってどうこうという話に思える。

◆単に財団をスリム化する、人を減らすという話ではない。すてっぷの役割は大きいと思っている。事実、市の予算が一律で削減をかけられたときでも、財団への市補助金については配慮して緩やかな削減としている。

○財団の役割はこれからもっと重要になると思う。就労支援などですてっぷと連携してできることはたくさんあると思う。

○人、物、金、情報という4つの資源を財団は持っている。人権という課題は全てが大事と言いがちだが、総花的にやらないといけない市の立場と、選択と集中ができる財団の立場の差はあってもいいのではないか。

4. その他

○すてっぷのオープン事業にかかわる当時の評価を検討しておいてほしい。

○理事会、評議員会の傍聴についての検討を。

○昨年度の事業概要はHPにアップされているが、過去の分や理事会などの議事録はアップしないのか。

◆HPの容量の関係でアップできない。

○あり方意見交換会のPRの工夫を。

以上の意見交換のあと

○3点の要望があり、◆のとおり回答。

①今日の議論を検討委員会に伝えて欲しい。

◆このことについては、あり方検討委員会に伝える。

②HPに議論の経過をアップして欲しい。

◆アップできるように検討する。

③理事、評議員と交流したい。

◆理事・評議員にはかる必要がある。できるものならやりたいと思う。